

ごあいさつ



(一社)関東テニス協会 会長

木下 信行

第39回を迎える関東実業団対抗テニスリーグ戦が、群馬県前橋市のALSOKぐんま総合スポーツセンターテニスコートで開催されますことは誠に喜ばしく存じます。

関東テニス協会は昨年、創立100周年を迎え一般社団法人に法人化成りを果たし、「関東から日本、そして世界へ」というスローガンを掲げ、次の時代へまい進して参ります。

本大会、通称、関東リーグは関東地域一都七県の実業団代表チームが出場する団体戦であり、2シングルス・1ダブルスの合計3ポイントによる対抗戦で毎年熱戦が交わされる大会であります。この大会の成績により男子は上位4チーム、女子は上位5チームが10月に広島で行われる第38回全国実業団対抗テニストーナメント(全国A大会)への出場権が得られ、さらに、12月のテニス日本リーグへの道に通じている、実業団では大変重要な大会であります。

選手の皆様は厳しい日常勤務の中、練習に励み、心身の鍛錬に取り組まれた方々と思いますが、各都県の代表チームとして、また各社の代表としてフェアプレーに徹し、持てる力・実力を発揮し、思う存分活躍されることを期待しております。

テニス界ではトッププレイヤーばかりが注目されがちですが、数多い社会人プレイヤーの頑張りで日本のテニス界を盛り上げてくださることを願っております。

そして選手の皆様には、テニスには勝敗だけでは得られない数多くのものを獲得できるような友好の場としてくださることを祈念しております。今年はコロナ禍で開催を控えていた懇親会を再開することになり、試合だけでなく、交流を深めて頂けるものと楽しみにしています。

近年、女子チーム出場の減少が顕著となっています。テニスは、スポーツの中で男女が一堂に会して大会を持てる数少ない競技です。テニス界では、女子チームの先行きを心配しているところです。各実業団が男女一緒に参加して頂けるとありがたいと思います。

最後になりますが、本大会の開催にあたりご後援頂きました群馬県様ならびに(株)上毛新聞社様、ご協賛頂きました(株)ダンロップスポーツマーケティング様、また大会運営にご協力頂きます群馬県テニス協会様ならびに大会役員の皆様に厚く御礼申し上げ、本大会が成功裏に幕を閉じられるよう願っております。